

「任命式 & 交流会」の様子

平成 28 年 7 月 16 日 (土) 大津市 コラボしが 21

今年度も 5 月下旬から 6 月下旬にかけて、県内在住の小学校 4 年生から中学校 3 年生までの生徒児童を対象に、滋賀県子ども議員の募集を行ったところ、多くの御応募をいただき、ありがとうございました。

この程、50 名の子ども議員を決定し、子ども議員として活動への意欲を高めるとともに、初めて出会う子ども議員同士の交流を深めるために「子ども議員任命式 & 交流会」を開催しましたので、その様子を報告します。



任命式



今年度、県内 14 市町より、小学 4 年生から中学 3 年生まで 50 名の子ども議員が任命されました。

まず、任命式において三日月知事より、一人ひとりに任命書が手渡されました。緊張気味の子ども議員もいましたが、知事とがっちり握手をし、笑顔がこぼれていました。



次に知事のお話を聞きました。「せっかくのこの機会、滋賀県のことや、目の前にある琵琶湖のこと、一緒に生きている周りの人たちのこと、生き物のことなどを考えるきっかけにさせていただいたらうれしいと思います。どんなことが問題なのか、どうすればもっと良くなるのかを皆さんの活動で考えてください。皆さんの御意見、御提案を楽しみにしています。」と激励の言葉をいただきました。

最後に、知事、子ども議員、サポーターみんなで記念撮影をし、任命式が終了しました。知事から任命を受け、12 月に開催する「子ども県議会」に向けて、意欲を新たにしました子ども議員でした。



交流会



この日、初めて出会う子ども議員同士の交流を深めるために交流会が開かれました。最初は緊張気味の子ども達でしたが、アイスブレイクのゲームをとおして、すっかり緊張もほぐれ、自然に子ども議員同士の会話が生まれてきました。また、子ども達に積極的に話しかけ、心をほぐしてくれたサポーターのお兄さん、お姉さんのおかげもあり、たくさんの子ども議員の笑顔が見られました。

これからの活動の中でも交流を深め、県内各地に友情の輪が広まることを願っています。



記念撮影



「体験活動①～防災～」の様子

平成 28 年 8 月 4 日（木） 甲賀市 甲賀広域行政組合消防本部

8月4日（木）に体験活動①を行いました。この日のテーマは防災です。「暮らしの安全はどうやって守るの?」ということを知り、甲賀市広域行政組合消防本部を訪ねました。

この日の子ども議員の様子について、報告します。



本日のテーマについて説明を聞く子ども議員

★★★★☆★★★★

消防署のお仕事

★★★★☆★★★★

消防署に着くと、まず、署員の方から仕事についての説明を聞きました。消防署の仕事は、大きく分けて、「火を消すこと」、「火災の予防」、「命を助ける（救助）」、「病院まで運ぶ（救急）」の4つの仕事があること、全国では年間4万件、約13分に1度の割合で火災が起こっていることを知り、驚いていた子ども議員でした。また、甲賀消防本部では、甲賀市、湖南市の範囲を受け持ち、192名が訓練をしながら仕事をしていること、朝まで泊まって仕事をしていることなどを聞き、暮らしの安全が多く消防署の方の努力によって成り立っていることを知りました。



★★★★☆★★★★

消防署の見学

★★★★☆★★★★

説明の後、3つのグループに分かれ、消防車、救助工作車、救急車を見学しました。火を消すため、命を守るために、それぞれの車両には随所に工夫された装備があり、子どもたちは、署員の方の説明に熱心に耳を傾けていました。



消防車の説明



救急車の説明



救助工作車の説明



DIG プログラム



DIG プログラムとは、地震時により安全な避難経路をグループで話し合いながら考えるプログラムです。今回は、5つのグループに分かれ、滋賀県南東部に地震が起ったという想定で行いました。

まず、消防署員の方の指導のもと、地震時に危険な場所、食料を得ることができる場所、大きな道等を地図上に書き込んでいきました。次に決められた避難場所までのより安全な経路をみんなで考え、地図に書き込んでいきました。「こっちの道の方が、道が広くて安全かな。」「この道沿いには、店があるので避難する途中、食料を手に入れることができる。」など様々な意見を出しながら避難する道を決めていきました。

話し合った後は、各班ごとに避難経路を発表し、考えを共有しました。また、このプログラムの後は、司令室を見学し、住民の安全を守る仕事の最前線を知ることができました。



DIG プログラムの様子



司令室見学の様子



活動のまとめ



一連の体験、見学が終わった後、テーマごとにグループに分かれて、まとめの話し合いを行いました。今日の体験活動によってわかった課題、自分の考えなどについて、考えを交流しました。



今日の活動によって、「暮らしの安全」をより身近に感じることでできた子ども議員でした。次回の体験活動は、大津市にて商店街を見学し、「まちづくり」について考える予定です。

「体験活動②～まちづくり～」の様子

平成 28 年 8 月 27 日（土） 大津市 菱屋町・丸屋町商店街

8月27日（土）に体験活動②を行いました。この日のテーマは「まちづくり」です。大津市の菱屋町・丸屋町商店街を訪問し、これからのまちづくりについて考えました。

この日は、浜大津駅に集合。その後、徒歩にて商店街に移動し活動を行いました。では、子ども議員の様子について、報告します。



★★★★☆★★★★ 商店街について知ろう ★★★★★☆★★★★

商店街に着くと、まずなかまち交流館の福井様より、今回見学する商店街の概要について教えて頂きました。

商店街の歴史や取組、どんな店があるのかなど、詳しい説明を聞き、子ども達は、「早く行きたいなあ」とこれから始まる活動に改めて意欲を高めた様子でした。



★★★★☆★★★★ 商店街を見学しよう ★★★★★☆★★★★

説明を聞いた後、グループに分かれて商店街の見学です。子ども達は、商店街を歩きながら、街並みや商店を見学し、知りたいことを積極的に店員の方に質問するなど、意欲的に活動を楽しんでいました。

お店の中には普段、見たこともない珍しい商品もたくさんあり、特に金物屋さんで見つけた「ハエ取り紙」や「釣瓶」に驚いていました。また、各グループには、町おこし隊のボランティアの方も引率して下さり、商店街を歩きながら様々なことを教えて頂きました。



★★★★☆★★★★ 街の人の声を聞こう ★★★★★☆★★★★

昼食をはさみ、街の人の声を集めるために「ボイス調査」を行いました。子ども議員は、各グループごとに今日のテーマに関する様々な質問を考え、お店の人やお客さん、行き交う人々にインタビューを行いました。滋賀県をよりよくしていくために大切な活動です。初めて会う人にインタビューすることは少し緊張しますが、挨拶や御礼をしっかりと言いながら取り組むことができました。



★★★★☆★★★★ 商店街の取組を聞こう ★★★★★☆★★★★

ボイス調査の後、商店街の現状や取組について、商店街の理事長様よりお話を聞きました。

昔の活気を取り戻すために、商店街同士が協力しながら様々な取組をしていることを聞き、驚く子ども議員。特に100円で色々な買物ができる、「大津100円商店街」の取組に驚いていました。

様々なアイデア、工夫から商店街が活気づくことを教えて頂きました。



★★★★☆★★★★ 活動のまとめ ★★★★★☆★★★★

一連の活動が終わった後、グループに分かれて、まとめの話し合いを行い、本日の学びをみんなで共有しました。今日は、商店街の皆様の御協力により、子ども議員は、「まちづくり」について多くのことを学びました。本当にありがとうございました。

次回は、草津市、琵琶湖博物館にて「びわ湖」「自然」「環境」をテーマに体験活動を行う予定です。



「体験活動③～びわ湖・くらし～」の様子

平成 28 年 9 月 3 日（土） 草津市 琵琶湖博物館

9月3日(土)に体験活動③を行いました。この日のテーマは「びわ湖と私たちのくらし」。草津駅に集合し、路線バスに乗って、新しくリニューアルされた琵琶湖博物館を訪問しました。

★★★★★☆☆★★ 琵琶湖博物館を見学しよう ★★☆☆★★★★★

博物館に着くと、5つのグループに分かれて、見学のテーマを決めました。琵琶湖博物館には様々なテーマの展示があるため、見学前に深めたいテーマ、考えたいテーマをグループで話し合い、課題意識を共有しました。

その後、いよいよ子ども達を楽しみにしていた館内見学です。サポーターとともにリニューアルされた館内をグループで見学しました。深めたいテーマの展示について、じっくり見学するとともに、バイカルアザラシなどのリニューアルされた展示を楽しく見学しながら、館内を探検しました。



★★★★☆★★★★★ ボイス調査をしよう ★★★★★☆★★★★★

昼食後、グループごとにボイス調査を行いました。博物館のスタッフや一般の来館者の方に、「今の琵琶湖についてどう思いますか?」「新しくリニューアルされた琵琶湖博物館の見所を教えてください」など、緊張しながらも勇気を出してインタビューをしていた子ども議員でした。



★★★★☆★★★★★ 講義から学ぼう ★★★★★☆★★★★★

ボイス調査の後、「びわ湖今昔物語～環境問題とたちむかう県民～」と題して琵琶湖博物館の学芸員の方に、講義をしていただきました。

講義では、富栄養化防止条例を例に、滋賀県民や行政が環境問題とどのように向き合ってきたのかをわかりやすく教えていただきました。



★★★★☆★★★★★ 活動のまとめ ★★★★★☆★★★★★

活動の最後に、「暮らし」「環境」などテーマごとのグループに分かれて、まとめの話し合いを行いました。見学した内容やボイス調査から、学んだことを発表し合い、それぞれのテーマごとに、どんなことをすれば、さらに滋賀県が良くなるのかをみんなで話し合いました。



今回の活動で3回の体験学習を終えました。夏休みを中心に県内で様々な体験をし、滋賀県の新たな一面を学びました。次回からは勉強会で提言づくりに取り組んでいきます。これまで体験を生かしながら、滋賀県がさらによりよくなるための提言を考えてもらいます。どんなアイデアがでてくるのか、今から楽しみです。

「勉強会①」の様子

平成 28 年 9 月 22 日（木・祝） 大津合同庁舎会議室

9 月 22 日（木・祝）に子ども県議会に向けての勉強会を行いましたので、子ども議員の様子について、報告します。

☆☆☆☆☆☆ 「子ども議会」の役割を知ろう ☆☆☆☆☆☆

まず、過去の子どもの県議会の映像から、役割についての説明を聞きました。

子ども県議会は、提案をする役割だけでなく、議長、活動発表、子ども宣言の発表、感想の発表など、様々な役割があります。実際に過去の映像を見ながら、「子ども県議会」の雰囲気を掴むとともに、それぞれの役割について知りました。

実際の役割分担については、次回の勉強会で行います。



☆☆☆☆☆☆☆☆ 10年後の滋賀を考える ☆☆☆☆☆☆☆☆

子ども県議会の雰囲気を掴んだ後、「10年後にこんな滋賀県になったらいいのにな」という思いを短冊に書き込み、グループで発表し合いました。

「もっと滋賀県の魅力がわかってもらい、観光客がいっぱいくる滋賀県になってほしいな。」「もっと交通の便がよくなってほしい。」などさまざまな思いを書き、みんな交流していました。



☆☆☆☆☆☆☆☆ 委員会で話し合おう ☆☆☆☆☆☆☆☆

昼食をはさみ、教育、環境など興味のある分野ごとの委員会に分かれ、先程書いた短冊を参考にして、よりよい滋賀県になるための具体的な方法を話し合いました。その後、各自で自分なりの考えを作文にまとめました。

次回も勉強会②でこの作業の続きをします。どんな提案がでてくるのか、今から楽しみです。



「勉強会②」の様子

平成 28 年 10 月 8 日（土） 大津合同庁舎会議室

10月8日（土）に子ども県議会に向けての2回目の勉強会を行いましたので、子ども議員の様子について、報告します。

★★★★☆★★★★ 文章の書き方を知ろう ★★★★★☆★★★★

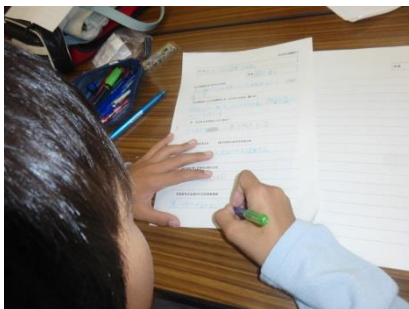
子ども県議会には、提案、議長、活動発表、子ども宣言、感想の発表など、様々な役割がありますが、いずれも自分の思いをうまく表現することが大切です。そこで、過去の提案文を見ながら、自分の思いを上手に表現するポイントを学びました。その後、子ども県議会で実際に担う役割をみんなで決めていきました。



★★★★☆★★★★ 子ども県議会に向けて ★★★★★☆★★★★

役割が決まると、各委員会ごとに「子ども宣言」を考えました。「子ども宣言」とは、子ども県議会の最後に採択する、子ども議員自身による滋賀県をよりよくするための行動宣言です。委員会ごとに、じっくり話し合い、宣言内容を決めました。

その後、役割ごとに集まり、子ども県議会で発表する原稿を書いていきました。何度も添削をしてもらい、アドバイスをもらいながら、自分の思いがしっかり伝わるよう作文に取り組みました。今年はどんな提案をしてくれるのか、今から楽しみです。



★★★★☆★★★★ 次回はリハーサル ★★★★★☆★★★★

次回12月10日（土）は、役割を確認し、子ども県議会のリハーサルを行います。いよいよ子ども県議会に向けての活動も佳境に差し掛かってきました。県内各地に広がった友達の輪を大切にしながら、すばらしい子ども県議会になるよう、子ども達の活動を見守っていききたいと思います。

「勉強会③」の様子

平成 28 年 12 月 10 日（土） コラボしが 21

12 月 10 日（土）に子ども県議会に向けての 3 回目の勉強会を行いましたので、子ども議員の様子について、報告します。

★★★★☆★★★★ 「議会」について知ろう ★★★★★☆★★★★

まず、前回に決めた役割分担を確認した後、「議会って何だろう？」ということについて、滋賀県職員より説明を聞きました。滋賀県議会の役割や仕組み等について、話を聞き、議会で県民の代表者である議員の採決によって、県にとって大切なことを決定していることを学びました。そして、「自分たちも滋賀県の子ども代表として、子ども県議会にしっかり臨もう！」という意識を新たにしました。



★★★★☆★★★★ 子ども県議会リハーサル ★★★★★☆★★★★

その後、子ども県議会に向けて、リハーサルを行いました。子ども県議会は、滋賀県議会と同じように、議長進行のもと、議事を進めています。この日も本番の流れについて説明を受け、3人の議長の進行のもと、動きを確認しました。ちなみに、子ども議員の役割は、以下のとおりです。



<子ども議員 役割>

議長	「子ども議会」を進行します。
活動報告	任命式から半年間の子ども議員としての活動を報告します。
質問、提案	これまでの活動を通して考えた「よりよい滋賀県」になるための提案等を発表します。
子ども宣言	各委員会ごとに考えた、子ども達自身の行動宣言を発表します。
感想	半年間の活動、子ども県議会の感動等を発表します。



子ども議員の皆さんには、上記の 5 つの役割のいずれかを担ってもらっています。

12 月 26 日(月)は、いよいよ本番です。一人ひとりが自分の役割をしっかり果たし、思い出に残る「子ども県議会」になることを願っています。

「子ども県議会」を開催しました！

平成 28 年 12 月 26 日（月） 滋賀県議会議場

12月26日（月）に「子ども県議会」が、滋賀県議会議場で行われました。7月の任命式で三日月知事から任命書を受け取り、それ以来、体験活動や勉強会を通して滋賀県のことを学び、考えてきた子ども議員の皆さんにとって、この日がいよいよ「本番」です。これまでの活動の中で考えた提言を知事や教育長、警察本部長、各部長に発表しました。

子ども県議会では、子ども議員が議長となり、議事を進めていきました。まず、出席者の紹介の後、来賓としてお忙しい中、来ていただいた野田県議会議長、井阪厚生・産業常任委員長から挨拶をいただきました。

次に子ども議員からこれまでの子ども議員の活動について、「活動報告」が行われました。



<活動報告の様子>

<活動報告の内容>

1. 任命式について
2. 体験活動①～防災～
(甲賀消防署の見学・体験について)
3. 体験活動②～まちづくり～
(ナカマチ商店街の見学・体験について)
4. 体験活動③～環境～
(琵琶湖博物館の見学について)
5. 議会勉強会について

その後、21名の議員がそれぞれのグループで考えた提言を、堂々と発表し、その提言に対して、知事や教育長、警察本部長、各部長が答弁をしました。

子ども議員の提案と答弁者

- | | |
|---------------------|----------|
| 1 滋賀でアスリートを強化するために | 知事 |
| 2 滋賀県の観光客が増えるために | 商工観光労働部長 |
| 3 滋賀県から少しでもいじめをなくそう | 教育長 |
| 4 各地域に防災マップを | 総合政策部長 |

- | | | |
|----|--------------------------|----------|
| 5 | みんなが楽しく暮らせる滋賀県 | 健康医療福祉部長 |
| 6 | ひったくりのない滋賀に | 警察本部長 |
| 7 | 「しが県生き物在外カード」について | 琵琶湖環境部長 |
| 8 | 学校でのタブレットの活用について | 教育長 |
| 9 | 男女共に輝ける滋賀県にするために | 知事 |
| 10 | 滋賀を多くの人に知ってもらうために | 商工観光労働部長 |
| 11 | もっと本に親しむ機会を | 教育長 |
| 12 | 災害がおこる前に | 総合政策部長 |
| 13 | ヨシや固有種の大切さを知ってもらうため
に | 琵琶湖環境部長 |
| 14 | ふるさと滋賀にほこりを | 教育長 |
| 15 | 滋賀県ならではの交通網 | 知事 |

始まる前は、議場で発表することに多くの子ども議員が緊張をしていましたが、本番では滋賀県がさらによくするように意見を出し合い考えた提案を堂々と発表することができました。また、提案に対する答弁にも熱心にメモをとりながら聞く姿が見られました。



<提案や答弁の様子>

提言を發表した後、子ども議員自らが、「素晴らしい滋賀県にするために生活の中で心掛けること」を「子ども宣言」にまとめて提案し、全会一致で採択しました。



平成 28 年度 子ども宣言

①防災委員会

自分の身と他の人の身を守るために防災訓練に積極的に参加し、災害に対する備えをします。

②犯罪防止委員会

事件や事故にまきこまれないように、寄り道せずに学校で決められた帰宅時間を守ります。

③子ども、夢、活動委員会

子どもが外で遊ぶことが好きになれるように、時間がある時は友だちを誘い、一緒に遊びます。

また、子どもがたくさん夢を持てるように、滋賀県で行われている様々な活動に参加します。

④観光委員会

滋賀県の魅力を伝えるために、自分達が滋賀のことを知り、勉強します。

⑤交通委員会

滋賀県の交通事故をなくすために、自転車に乗る時は交通ルールなどを守り、道路の左側を走ります。

⑥教育委員会

滋賀県の学力向上のため、自主学習や宿題をきちんとします。

⑦福祉委員会

老人や障がい者の方が住みやすい町にするために、バスや電車の中で積極的に声をかけて、席をゆずります。

⑧「環境」委員会

日本一きれいな県にするために、清そう活動に積極的に参加し、リサイクルできるものはできるだけリサイクルします。そしてポイ捨てをしません。

⑨「びわ湖」委員会

きれいなびわ湖にするために、水道の水を大切にし、ゴミが落ちていたら拾います。

最後に三日月知事から挨拶をいただき、これまでの子ども議員としての活動にねぎらいの言葉を頂くとともに、これからの子ども議員の皆さんに激励の言葉を頂きました。



本日の「子ども県議会」をもちまして、子ども議員としての活動は終了しました。子ども議員の皆さん、半年間、意欲的に活動に参加していただき、ありがとうございました。

県内各地より小学校4年生から中学校3年生までの幅広い年齢層の子ども議員が集まり、楽しく活動し、考えを語り合う中で、滋賀県がさらによりよくなるための素晴らしい提言や子ども宣言を考えていただきました。そして、「子ども県議会」本番では、多くの人たちの前で、堂々と発表することができました。これからもそれぞれの地域において、今回の経験を生かして活躍してください。

